



自らを拓く 自分への挑戦

前期の期末テストが終了しました。この定期的に行うテストは、学習内容を單元ごとに総復習し、「学習した内容がどのくらい定着したか、活用できたか」を確認すると同時に、「弱点を把握し、克服するための行動に繋げる」ために実施します。

生徒は、宿題以外の学習にも自発的に取り組むなど、様々な対策を講じて臨んだことと思います。こうした日頃の学習習慣は、高校受験をはじめ将来のあらゆる成長機会に直面した際に大いに役立つものとなります。学校での授業だけではなく、家庭における復習を含めた学習量が成果へとつながります。

全国学力・学習状況調査から

学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。本校の教科に関する調査結果の概要（正答率）では、国語は全国平均とほぼ同じ状況であり、数学と英語は全国平均を下回っています。

本校の育成を目指す資質・質能（主体性・協働性・創造力・貢献力）の視点から生徒質問紙調査結果を見てみると、「自分と違う意見について考える」「読書が好き」（主体性）、「自分には良いところがある」「将来の夢や目標を持っている」（協働性）、「朝食を毎日食べている」「最後まで解答を書こうと努力した」（創造力）、「人の役に立つ人になりたい」「地域や社会のために何かしてみたい」（貢献力）の項目で全国平均を下回っています。

授
業
改
善

学校（教員）は、以下の取組を進めます

- 👉 「めあての明確化」と「まとめ」の整合性
 - ※めあて→授業で子どもが目指す姿を共有する
 - ※まとめ→学習により、何を学んだのかを共有する
- 👉 「振り返りの充実」
 - ※わかったこと、自分の変化や成長、新たな疑問や授業のつながりなど、学びを振り返り共有する

自らの成長を図るために、目の前の目標に向けて頑張ることはとても大切です。そして、もっと長期的な目で「自分自身を高める」ために努力できる力を育てましょう。